

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・残暑が厳しくなり、秋物の動きが鈍くなったが、売上は今年3月以降、前年実績をクリアしている。
		百貨店（売場担当）	単価の動き	・購買率は横ばい、入店客数はやや前年割れで推移しているが、1品単価、購買単価がそれぞれ約1割増であり、売上が前年比増となりそうである。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・SARSの影響も薄れ、夏休みの家族旅行が増加している。海外旅行は、単価は低いものの、人員ベースでは前年比95%まで回復している。
	やや良く なっている	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・実売にはつながっていないが、買おうという客の姿勢が少し見られる。株価の上昇等がマインドに反映している。
		スーパー（店員）	お客様の様子	・安全、健康にこだわって、少々高くてもいい物を必要最小限の量だけ買うという傾向がある。
		コンビニ（販売促進担当）	販売量の動き	・食パン、菓子パンが前年より若干伸びた。
		衣料品専門店（店員）	販売量の動き	・単価は約半分なのでほとんど利益はないが、販売量は例年に比べるとやや良くなっている。
		家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・冷夏のため夏物商品の動きが鈍いが、代わりにテレビやパソコン等の売上がよく、前年比増となった。
		その他専門店 〔ガソリンスタンド〕（統括）	販売量の動き	・天候不順の影響もあったが、長崎ゆめ総体の特需から販売量が前年を上回った。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・5、6月は、景気低迷に加え、ライバル店の進出により売上が少なかったが、8月はアルコール関連の売上に伸びが出てきた。
観光型ホテル（スタッフ）		販売量の動き	・長崎ゆめ総体の特需により、昨年より売上が伸びた。	
都市型ホテル（副支配人）	単価の動き	・宿泊単価が300円程度上がっている。また、個人宿泊客の動きも活発になっている。		
通信会社（業務担当）	単価の動き	・カメラ付携帯電話の高値新機種人気も落ち着いたが、価格引き下げで需要がさらに伸びている。価格が安ければ携帯を買い換えたいと思っているお客様が多い。		
変わらない	商店街（代表者）	単価の動き	・近隣にテナントミックスやイベント広場が出来たので、街は多少活気を帯びてきた。しかし、飲食関係が持ち直している一方、婦人服関係が落ち込む等、業種によって差がある。	
	商店街（代表者）	販売量の動き	・夏休みで家族連れの来街者が多いものの、食品・衣類の売行きが悪く、中元商品の売残りも多い。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・買物客の郊外店舗への流出が依然として続いている。夏休みにもかかわらず、中心部商店街は従来よりも来客数が少ない。	
	百貨店（売場主任）	単価の動き	・8月中旬より秋物プロパー商品を展開しているが、動きが鈍い。売上はセール時が中心となり、客単価が下がっている。	
	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・消費者がボーナスの手取額の減少を実感し、買い控えが起こっている。	
	百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・8月もバーゲンを持続しているため売上は好調であるが、一品単価は下がっている。消費行動は依然として消極的である。	
	スーパー（店長）	販売量の動き	・ギフト（食品）は前年並みであるが、冷夏の影響で夏物衣料が前年比2割減となった。夏物衣料の処分に困っている。	
	スーパー（店長）	単価の動き	・夏物衣料の販売点数の大幅な落ち込みがあった。またお盆のおもてなし消費であるデリカ、さしみ、すし、長崎特有の花火も単価がダウンしている。「ハレ型」消費の時期でさえ、消費者は儉約であった。	
	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・客の来場は多いが、買上率は以前より若干減っている。	
	衣料品専門店（総務担当）	単価の動き	・冷夏の影響でミセス、婦人服の売行きが前年割れであるが、ヤング物は前年比増となった。宝飾品は前年比15%増となり、宝石、高額品の売上が婦人服の減少をカバーしている。	

		家電量販店（店員）	販売量の動き	・気温が上がり、エアコン、冷蔵庫等の夏商品が動き出したため、夏物商戦の不調が一時的にカバーされた。
		乗用車販売店（経営者）	単価の動き	・客単価が下がっている。品質より極力年式の新しい車(事故車でもいい)を求めているお客様が多い。
		自動車備品販売店（従業員）	お客様の様子	・単価の高い商品よりも日用品等の購入が多い。高額品は下見が多く、接客しても反応がいまひとつである。
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・6月頃から販売量の前年比減が止まらない。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・夏休み中も海外、国内旅行ともに伸びがなく、3か月前と変わらない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・出勤にタクシーを利用していた客がバスになったり、夜タクシーで帰宅していた客が家から迎えに来てもらったり等、タクシーの利用が減っている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・客の様子を見ると、景気が悪いことに慣れ、不景気下の生活に適應しているようである。
		タクシー運転手 通信会社（企画担当）	来客数の動き お客様の様子	・長崎ゆめ総体の特需により、横ばいであった。 ・顧客自身が十分な商品情報入手するようになっており、競合商品を選別する目が厳しくなってきた。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・住宅の販売棟数が依然として低迷している。展示場への来客数等、有効商談客数が伸びない。
やや悪くなっている		商店街（代表者）	来客数の動き	・雨の日が多く足下が悪いため商店街への来客が少ない。長雨のため野菜等が高騰し客の買い控えが起こっている。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・冷夏の影響で、7月以降、来客数の前年比減が著しい。集客のイベントを行っても、客足が伸びない。
		百貨店（業務担当）	販売量の動き	・夏物季節商材を中心に売上が減少している。下旬より秋物の展開を始めたものの、模様眺めの状況が続く、販売量、売上ともに回復の兆しが見えない。
		スーパー（店長）	単価の動き	・一時下げ止まっていた1品単価、1人あたり買上点数が、ここ2、3か月下降している。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・天候不順のため、徒歩・自転車のお客様の販売点数が減少した。さらに冷夏でお盆商材の動きも鈍かった。
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・あらゆるセールスプロモーションをするも、お客様がそれに反応しない。また秋冬商材を前倒し展開しているが、反応が鈍い。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・特に休日の客数が少なくなっている。
悪くなっている		商店街（組合職員）	それ以外	・7月の浸水被害から回復していない。街全体のダメージが予想以上に大きく、閉店も数件出ている。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・お盆の時期の花の需要が、3か月前の母の日と比べてかなり少なくなっている。
		百貨店（売場主任）	単価の動き	・中元ギフトは、客数はやや増えているが、1人当たりの単価が約10%強落ちてきている。
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・当店は海岸に位置しており、これまで夏枯れということは全くなかったが、今年の夏は創業以来初めて不調であった。毎年お盆前後は帰省客で多忙であったが、今年は帰省客も少なかったのか、連日閑散としていた。
企業動向関連	良くなっている			
	やや良くなっている	鉄鋼業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・原料価格が上昇基調にあるが、製品価格も強含んでおり、採算は現状安定している。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注が多く、残業で対応している。
変わらない		農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・日照時間の不足から作柄は良くないものの、現在宮崎県内で生産されている農産物はあまり多くなく、全体に与える影響は少ない。
		金属製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・地方の小規模物件にも中央大手が参入しており、中小企業は厳しい。
		建設業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・官公庁、民間工事とも見積積算件数は増加傾向にあるが、競合により受注につながるケースが少ない。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・資金需要は乏しく、利益率は依然として低水準である。

		経営コンサルタント	それ以外	・最近の仕事の内容は、リストラ関連、経営の合理化、効率化といった後ろ向きが多い。
		経営コンサルタント	競争相手の様子	・冷夏と長雨の関係で一部影響を受けている業種もあり、全般的にはあまり変わらない。
	やや悪くなっている	農林水産業（従業者） 窯業・土石製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き 競争相手の様子	・冷夏で全体的に食品関係は落ち込んでいる。食肉関係は前年を割っており、やや悪くなっている。 ・例年以上に受注関係が落ち込んでいる。夏の盆休みは以外にも前後の土日休みをする等、実動が減っているという話も聞かれる。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・半導体大手の動きは、在庫調整によりやや動きが鈍っている。また同業他社自体も8月に入ってから動きが非常に鈍いという話を聞く。
	悪くなっている	経営コンサルタント	取引先の様子	・今月のビールの売上が、冷夏の影響で、業務マーケットは15%減、家庭マーケットは10%減、コンビニ（複数メーカーの製品を納めた自販機）は8%減となった。過去10年間でも最悪の実績である。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・派遣のオーダー件数が20%ほど増加し、やや求人数が出てきたが、景気を変えるほどの状況ではない。
		人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・秋に向けての求人案件が若干増えてきている。ただ、社員の代行として派遣を利用するケースが微増している。事務職より営業職や販売職の採用が増えてきている。
		求人情報誌製作会社（総務担当）	求人数の動き	・求人を行う企業数は増加傾向にある。雇用形態の特徴として、正社員はコア人材となる高い能力を求め、それ以外は社員でなくパート・アルバイトでまかなう、という二極化傾向が見られる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・小枠の求人広告が増えてきた。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・パートを中心に、新規求人数が前年比6か月連続増加傾向にある。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・わずかではあるが、新規求人数が、製造業や建設業で増加傾向にある。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が6か月連続で増加している。住宅や公共投資が低水準で推移する建設業においても、半導体製造業や自動車、精密機械関連等の設備投資の増加から、新規求人数が3か月連続で増加している。
		民間職業紹介機関（支店長）	求人数の動き	・営業・販売職、テレマーケティング部門で求人が増加傾向にある。これらは企業の販売力増強につながる職種であり、プラス方向の動きと見られる。
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・夏の求人広告は比較的落ち込みが少なかった。
やや悪くなっている	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・最近大型の倒産が相次ぎ、求人数が減ってきている。	
悪くなっている	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・中間決算を迎えるにあたり、派遣社員の契約の途中終了が増えている。	
	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・経営者からは、景気が冷え込んでいるという話ばかりが聞かれる。	
	求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・電話による通信販売（訪問販売）の求人が減少している。	